

実践的な防災と危機管理を

まだまだ備えは
不十分。



命の笛。その音は、陸上では800メートル、水中でも15メートル先まで聞こえます。



乳児が口に触れても安心・安全な木材使用。園児も参加した上棟式。(小川保育園)

A Q

命の笛2の購入推進と補助を。現在購入や補助は考えていません。

A Q

総務課長 水害や土砂災害は、災害が発生する前の対応が重要であるとの観点から、避難誘導訓練などを検討していきたいと考えます。

Q 超高密度気象観測システム「POT-EKA(ポテカ)」1の導入を図る自治体が増えているが。

A Q

総務課長 現在は、気象庁や熊谷地方気象台が発表するデータ・情報と、国土交通省の河川防災情報や町内3カ所の雨量計データ等を活用し対応しています。ポテカの導入については、システムの詳細や費用負担等を考慮し、研究していきます。

A Q

車中泊する避難者への対応を、地域防災計画に明記する考えは。

Q 現行の計画は、屋内建物での避難生活を想定したものとなっています。避難所が分散し過ぎると避難者の支援が困難となる事態も考えられるので、今後は、避難所となる学校体育館に隣接するグラウンド等を駐車スペースとして活用できるか研究していきます。

Q 災害後対処訓練だけでなく、「災害予防訓練」の重要性を感じたが。

町活性化に女性の活躍を

たなかてるこ
田中照子が問う
女性の目線を生きづきを。



入浴・温水プールなど、憩いの場であるパトリアおがわ。

A Q

パトリアおがわの設備改善を。壁のカビ取り・脱衣所床の直し・ぬれた水着の絞り機(脱水機)の取りつけなどをすべきだと思うが。

A Q

テレビ等で取り上げられたヘメロカラスを栽培されている方や、バラの会などの力を借りて、まちおこしの観光事業につなげていくつもりはないか。にぎわい創出課長 個別に対応しながら、積極的に支援していきたいです。

A Q

プールの西日よけ・浴場の壁のカビ取り・脱衣所床の直し・ぬれた水着の絞り機(脱水機)の取りつけなどをすべきだと思うが。

A Q

自立と介護負担の軽減、運動機能の保持や転倒防止などの介護状態の重度化防止にも効果があります。費用負担が困難な方が福祉用具の利用をやめた場合、介護負担の増加と介護状態の重度化が考えられます。

有料化で軽介護者への影響は

かさはら
笠原武が問う
福祉用具の貸し出しを軽介護者から奪わないで。



✓解説 命の笛2

群集・騒音・爆発音などの中でも、人が一番聞き取りやすいと言われる周波数3150ヘルツに合わせて調律されている。また、どんな気候・天候でも同じように機能が発揮できる。

✓解説 ポテカ1

さまざまな場所に設置可能な小型の気象計で、それを結ぶネットワークで構成される。ピンポイントかつリアルタイムで気象情報や変化を得られる。



はじめてホームページから会議録を読みました。たくさんの意見があつてスゴイ。

(H.M. san・59歳)



(S.K. san・44歳)

Mini Column
オガワマチのこと
ギカイのこと
一緒に見よう、考え方
「議会のイメージ・期待すること」